

国立大学法人等施設の長寿命化に向けたライフサイクルの最適化に関する検討会  
ワーキンググループの設置について

平成30年2月27日

国立大学法人等施設の長寿命化に向けた  
ライフサイクルの最適化に関する検討会決定

1 設置の目的

国立大学法人等施設の長寿命化に向けたライフサイクルの最適化に関する検討会（以下、「検討会」という。）の検討事項について、専門的見地から検討を行うため、ワーキンググループ（以下、「WG」という。）を設置する。

2 委員

- (1) WGの主査及び委員は、検討会の主査が指名する。
- (2) 必要に応じ、委員以外の者に協力を求めることができる。

3 検討事項

- (1) 施設の長寿命化に関する指標等の整理
- (2) 長寿命化を図るための具体的な取組み事例の整理
- (3) その他関連する事項

4 設置期間

WGは、3の検討事項に関する検討が終了したときに廃止する。

5 その他

- (1) WGの検討状況は、適時に検討会に報告する。
- (2) ここに定めるもののほか、議事の手続きその他運営に関し必要な事項は、WGにおいて定める。
- (3) WGに関する庶務は、関係各課の協力を得て大臣官房文教施設企画部参事官付において処理する。

国立大学法人等施設の長寿命化に向けたライフサイクルの最適化に関する検討会  
ワーキンググループ 委員名簿

氏 名	職 名
齋藤 禎美	筑波大学 施設部長
鈴木 康史	東京建物株式会社 執行役員ビルエンジニアリング部長 (公益財団法人ロングライフビル推進協会 企画運営会議委員)
高草木 明	日本メックス株式会社エンジニアリングサービス 事業本部 特別顧問 (元東洋大学理工学部建築学科 教授)
恒川 和久	名古屋大学大学院工学研究科准教授
野口 貴文	東京大学大学院工学系研究科 教授
山本 康友	首都大学東京都市環境学部 客員教授

(以上6名, 敬称略, 五十音順)

## ワーキンググループにおいて整理する主な事項

### 1. 長寿命化のコスト面の効果 <平成 30 年度中>

#### ○施設を長寿命化した場合のコストの試算

現在のライフサイクル（60年）及び長寿命化のライフサイクル（100年）にかかるコストの比較

### 2. 施設の長寿命化に関する指標等 <平成 30 年度中>

各国立大学法人等における施設の長寿命化の取組に資するよう、効果的・効率的な施設整備や維持管理を図るための優先順位の考え方や、施設の主な部位の耐用年数の目標等を整理

### 3. 長寿命化を図るための具体的な取組み事例 <平成 30 年度中>

長寿命化を図るために有効と考えられる各国立大学法人等の先進事例を収集し整理